

太陽の学校

長崎市立滑石小学校
学校だより 令和3年度 No.3
令和3年5月28日 文責：校長

学校教育目標： のばそう力・みがこう心 ～笑顔で かしく たくましく～

できることを確実に ～ 「レベル3」での取組

4月中旬から新型コロナウイルスの感染状況が悪化したことに伴い、本県の感染ステージが最も厳しい「ステージ5」に引き上げられています。そのため、学校における予防対策も、文部科学省発出の「学校衛生管理マニュアル」に示された最も厳しい「レベル3」での対応を行っています（このマニュアルは適宜改訂されており、最新版は4/28付のver.6）。

そのマニュアルでは、具体的な活動場面での予防対策として、

『長時間、近距離で対面形式となるグループワーク』及び

『近距離で一斉に大きな声で話す活動』を「行わないようにする」

と示されています。声を出して話し合うような活動では、「**短時間で、距離を保って対面と**ならないように」「**距離を保って少人数で相手に届くくらいの声量で**」行うようにということです。

※ 短時間とは、「15分以内」

※ 保つ距離とは、「できるだけ2m、最低1m」 とも示されています。

これに沿って、活動方法を一部変更しています。例えば、音楽科においては、

歌唱：マスク着用のまま距離を保った数名で、同じ方向を向いて行う（一斉での合唱は不可）。

リコーダー等：距離を保った数名で、同じ方向を向いて行う（一斉での合奏は不可）。

といったように活動に制限を加えています。他の教科も同様に「図工科では、近距離となる共同制作は行わない」などと配慮しています。

また、本校においては、「朝の会での歌唱、家庭科の調理実習、給食後の歯磨き」は当分の間は中止としており、並行して、「必須5項目：マスク着用・他者との距離・手洗い・換気・除菌」の対応も継続しています。

「できることを確実に行う教育活動」を毎日続けていくことは、子どもたちの「安心安全」と「成長」を両立させるために、今やらなければならないことです。そして、一年以上にわたりこの取組を継続している中で、「早くこの状況が収まり、もっと豊かな活動ができる世の中になってほしい」との願いも強まってきました。もっと他者と関わり合うもっと多くの経験を子どもたちに重ねさせたいと強く願います。

例えば、給食時間の様子です。各教室では、「班をつくらず全員同じ方向を向いて、私語は無く黙々と食事をする」風景を一年以上続けています。マスクを外さなければいけない場面ですからそうすることが必要です。

例えば、全校集会の様子では、昨年度から全校で集まったのは、運動場に集合したわずか数回（歓迎集会・運動会）のみ。ほとんどが放送での集会となっています。

1・2年生はこの給食のやり方、集会の様子しか知りません。以前のように、班をつくり時々のおしゃべりも交えながら楽しく食事を進める給食の経験がなく、全校300名が体育館に集まり講話を静かに聴いたり喜びを共にしたりといった経験もとてもしないのです。



この子たちが卒業するまでに、社会の状況が少しずつ改善され、異なる風景を経験できますように。そのために、厳しい今をみんなで乗り越えましょう。

← 授業時間の様子ではありません。1年生の給食風景です。みんなで同じ方を向き、静かに食事をとっています。

子どもたちはとても素直に、現在のやり方に取り組んでいます。